菓子店の夏秋どリイチゴの需要と利用実態

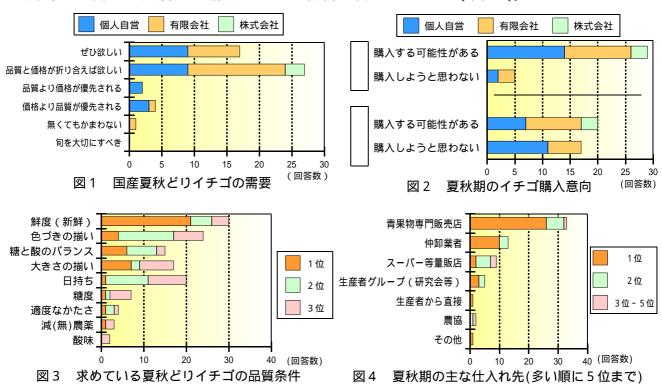
情報経営部 情報チーム TEL: 022-383-8119

研究の目的

7~10月の夏秋期は国産イチゴの生産量が少ないですが、ケーキなどで使用されています。そこで、洋菓子店へアンケート調査を実施し、業務用イチゴの需要と利用実態が明らかにしました(アンケートは、179店に郵送し、有効回答数は46でした)。

研究成果

- 1)国産夏秋どりイチゴのニーズは高いのですが、最も多かった回答は「品質と価格が折り合えば欲しい」という項目であり、国産イチゴにも高品質と価格のバランスが要求されています(図1)。
- 2)夏秋期に外国産イチゴを「購入しようと思わない」という回答が特に個人自営店で 多く見られており,個人自営店の方が国産志向でした(図 2)。
- 3)最も重視する品質条件は、「鮮度(新鮮)」で、次に「色づきの揃い」「日持ち」でした(図3)。洋菓子ではイチゴの見た目や日持ちも強く重要視されています。
- 4)菓子店の主なイチゴの仕入れ先は,青果物専門販売店,仲卸業者,スーパー等量販店が大半を占めています。量販店からの仕入れは,1位としての回答が少なく,少量不足時に近隣の量販店から購入している傾向が見られました(図4)。



普及等の見込

四季成り性品種の導入によるイチゴの周年出荷が増加しており,業務用に出荷する場合の参考情報として利用される。

宮 城 県 農業・園芸総合研究所

宮城県名取市高舘川上字東金剛寺1番地

TEL: 022-383-8111(代表) FAX: 022-383-9907(代表)

ホームページ: http://www.pref.mi agi.jp/res center/

E-mail: marc-fk@pref.mi agi.ip(代表)